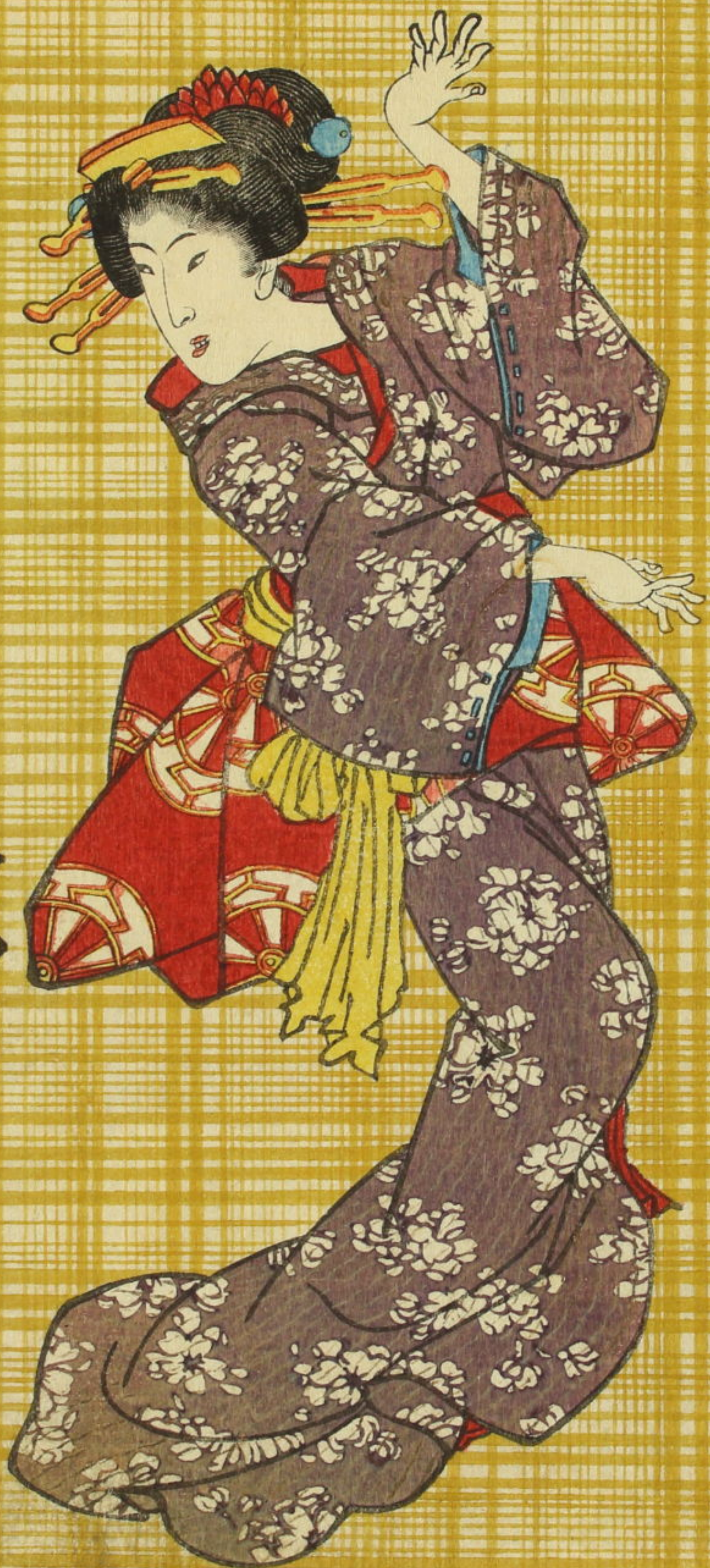


種彦諸國物語

九編

伊勢之卷前編上



一陽齋画

~ 13
3760
9



門へ13
 3760
 巻

かみん法園物語
 伊世林巻巻海の上
 さうけいしんま
 うまをけいせん
 柳亭翁の版
 田舎草紙
 せんま
 画

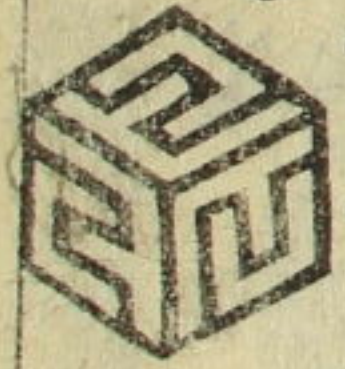


西政四

戲作者の魁は柳亭翁。往年田舎の都も流行をゆりとり深色の
 藤袴と綴目とく。紫の雲隠あゆむ。茲は七年柳翁の草造紙永壽堂
 梓行せし。鮎庵丁と初と本店の権の鏡元條穂も終を其切味の
 鋭も滑川の水逝てたると播上る名なきの松も昔時の松なる。是も若
 木と植つて久堂のまゆるれも予も師匠別れてより書作る支も懶惰
 と五六年筆を断る。終つて朋友たれも打棄果んはゆるぬと諫られて又
 此をてる。余あるうけても。各作る師匠の後續紹あまの尾公竜がま
 ち。當時翁が著述と物と再用を聊取捨。勉強伊勢巻二套
 とま故のうが手成ると久と更不つて作あわも但付録の遠はの香
 是へ翁の作あわ。其積が園の根分を彼古市の風雅話の千種の散
 し暮秋蕃瓜の尻よりむつひる。花形のほせ。あひせ。あひせ。あひせ。
 菊の花角カ外の造紙を負るるの。お伺もかふる。故人もさる喜ぶ。ゆる

弘化五年
 戊申孟陬

笠亭仙果謹述

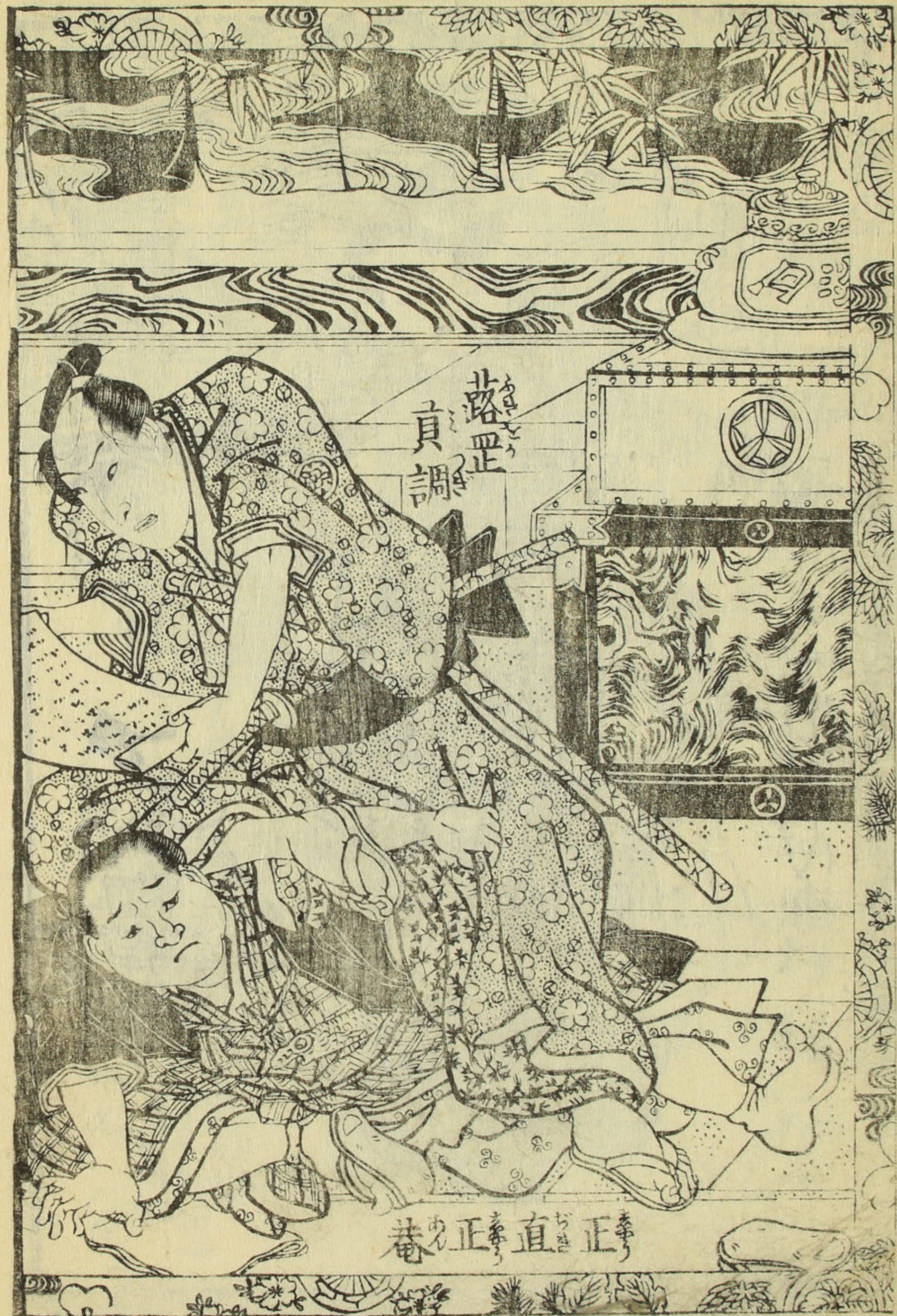




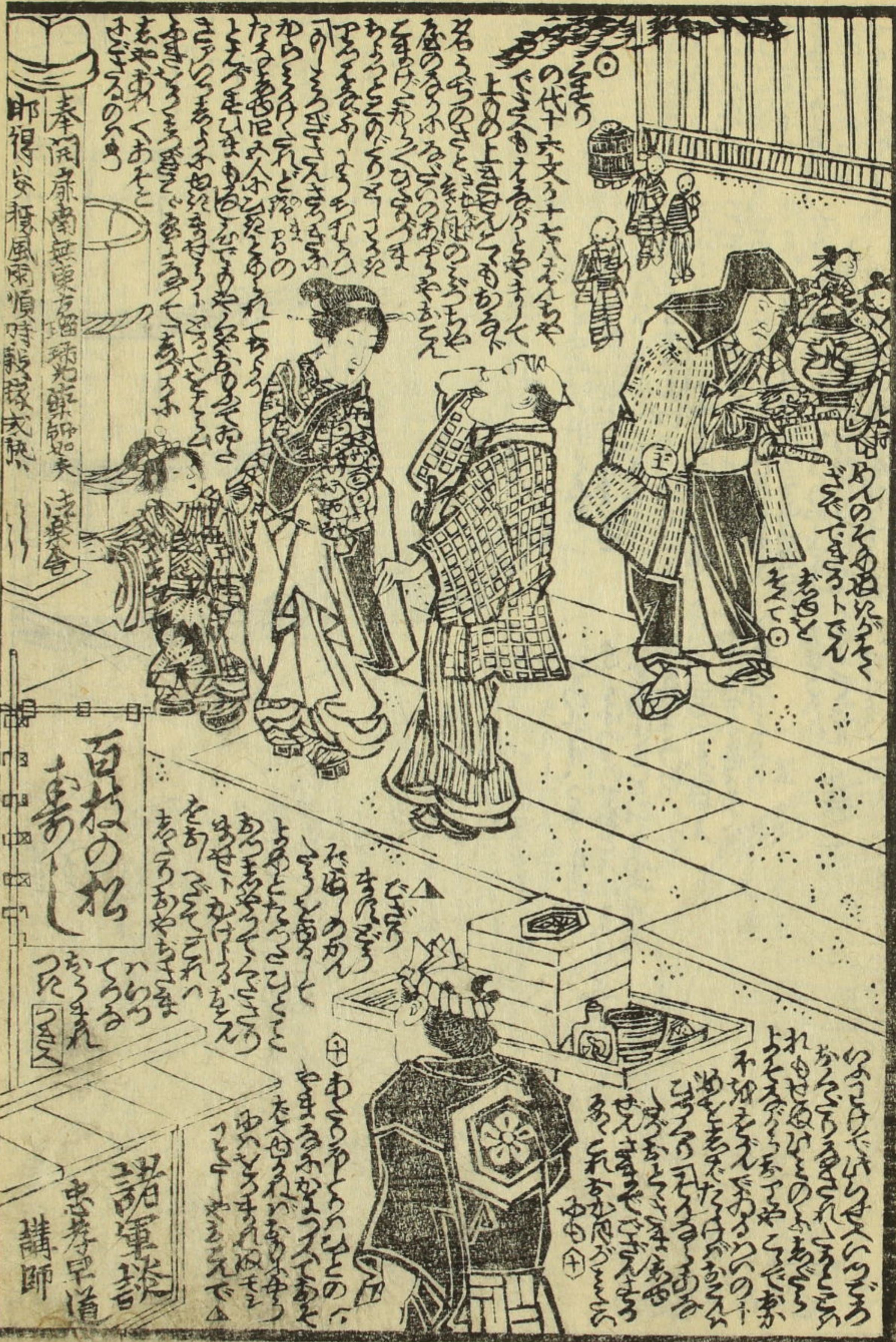
竹花屋手代徳七が妻
於玉

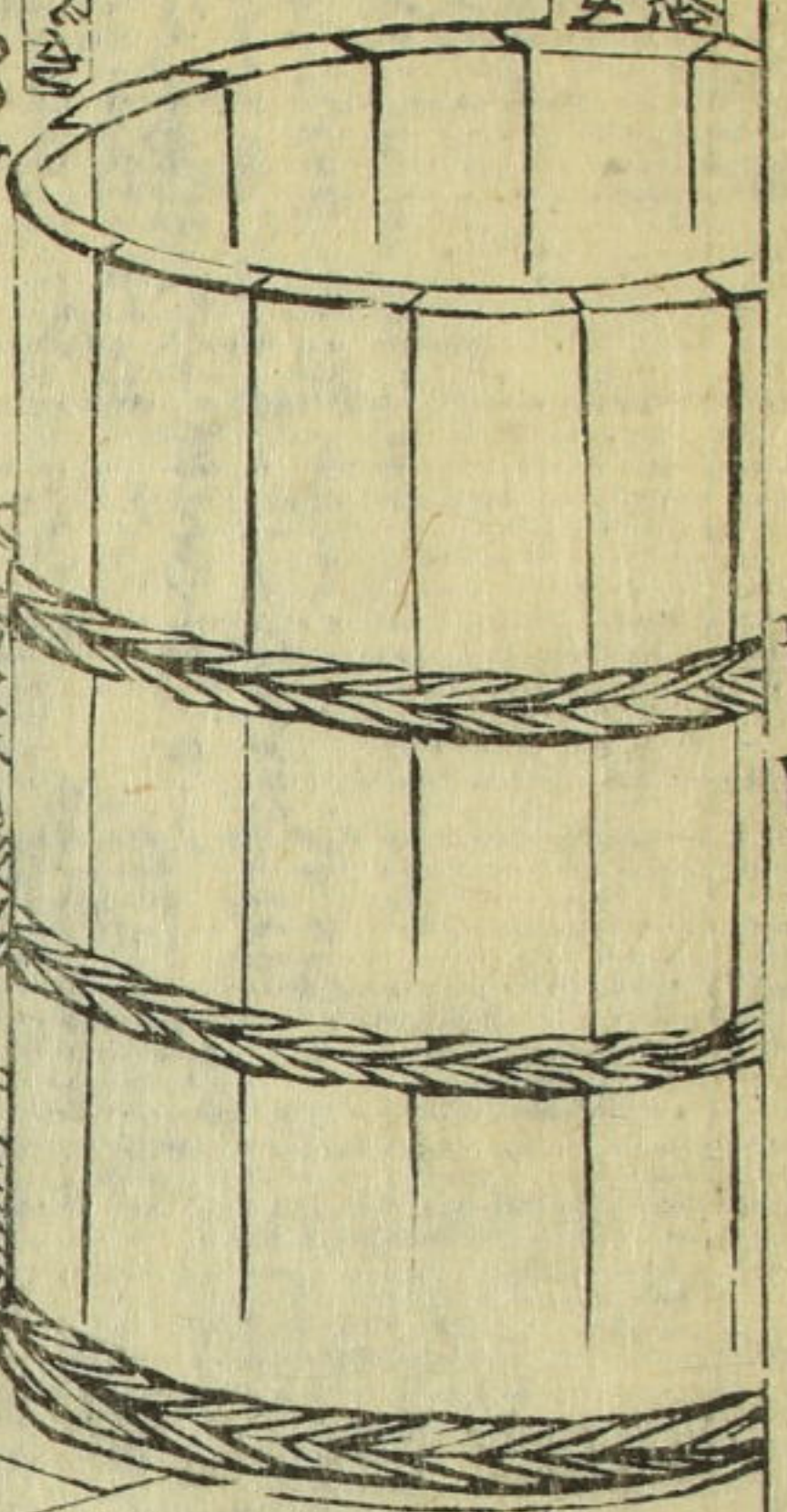


木偶舞
於玉



由
 單
 九





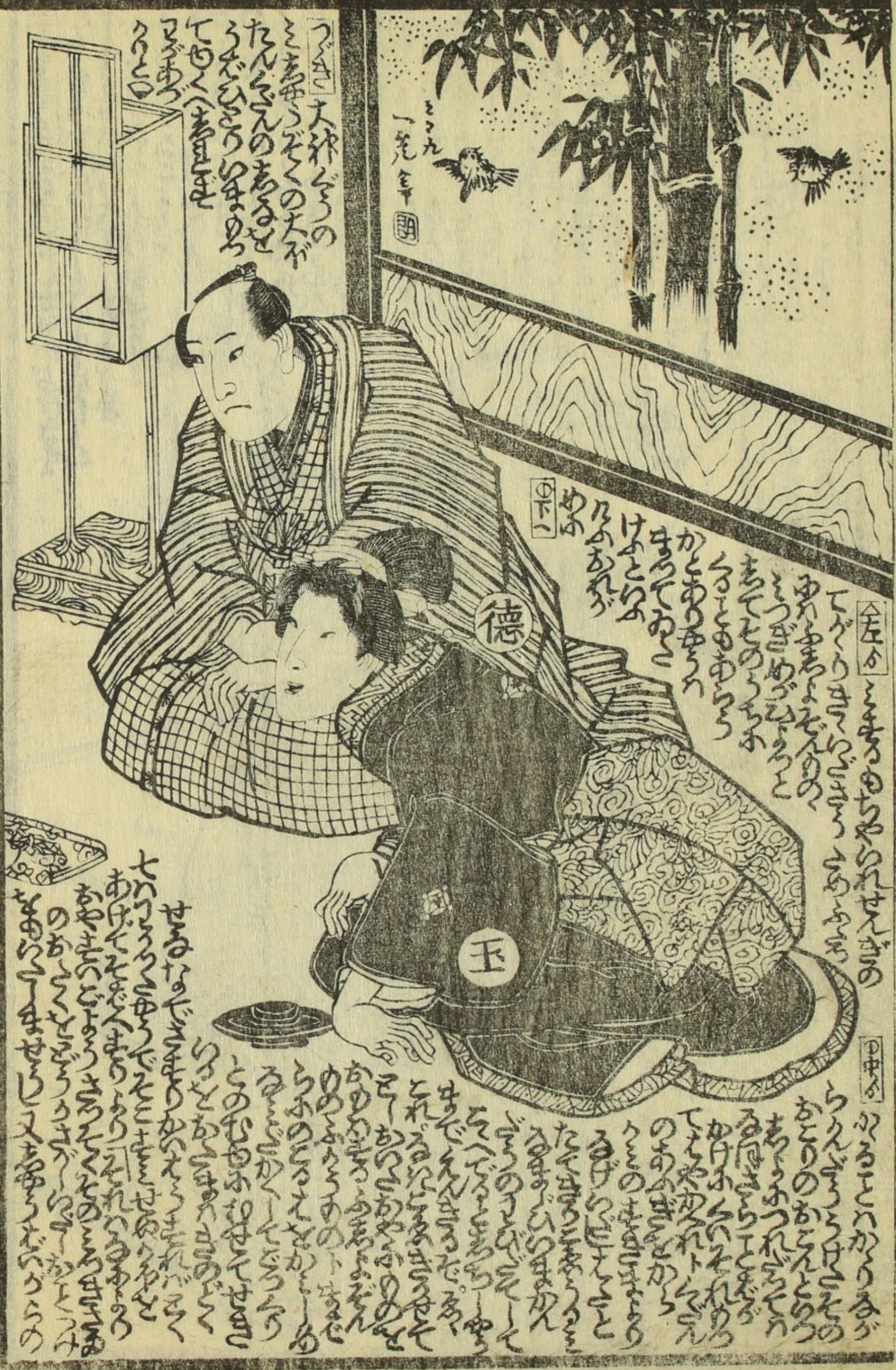
Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the woman and barrel illustration.

Large block of handwritten Japanese text at the bottom of the right page, including a circled character '徳' (Tok).

Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the left page.



Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the illustration of the two men.



うき大津の
とまふぞくのたが
たんえのあま
うき大津の
とまふぞくのたが
たんえのあま

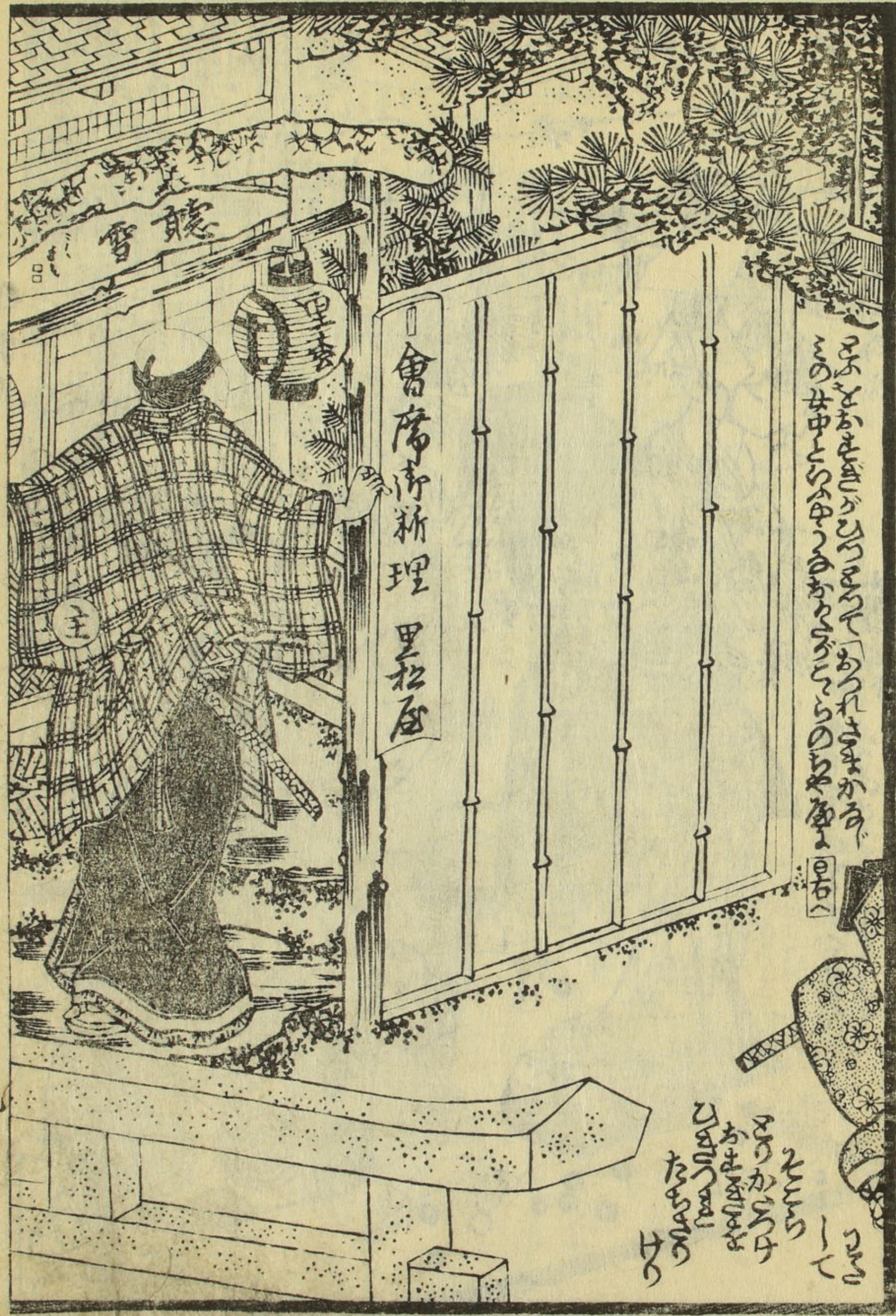
左のまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの

まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの



まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの

まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの
まのまの



主
 手
 目
 口
 鼻
 耳
 眉
 髪



目
 主
 手
 目
 口
 鼻
 耳
 眉
 髪
 目
 主
 手
 目
 口
 鼻
 耳
 眉
 髪
 目
 主
 手
 目
 口
 鼻
 耳
 眉
 髪
 目
 主
 手
 目
 口
 鼻
 耳
 眉
 髪



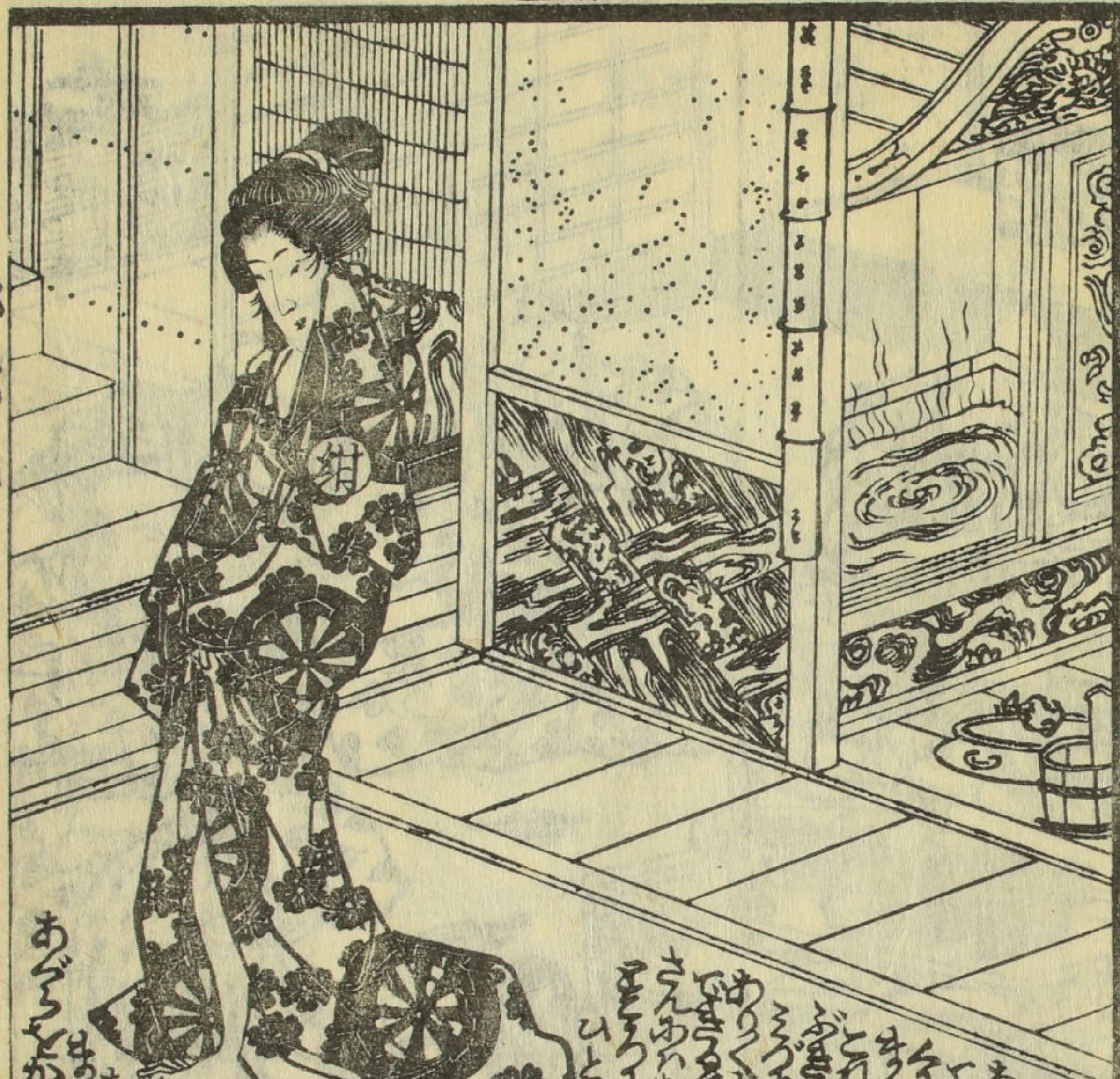
朝能道



詰園物語

伊勢之巻
巻下





Vertical columns of handwritten text, likely a preface or commentary, located below the illustration.

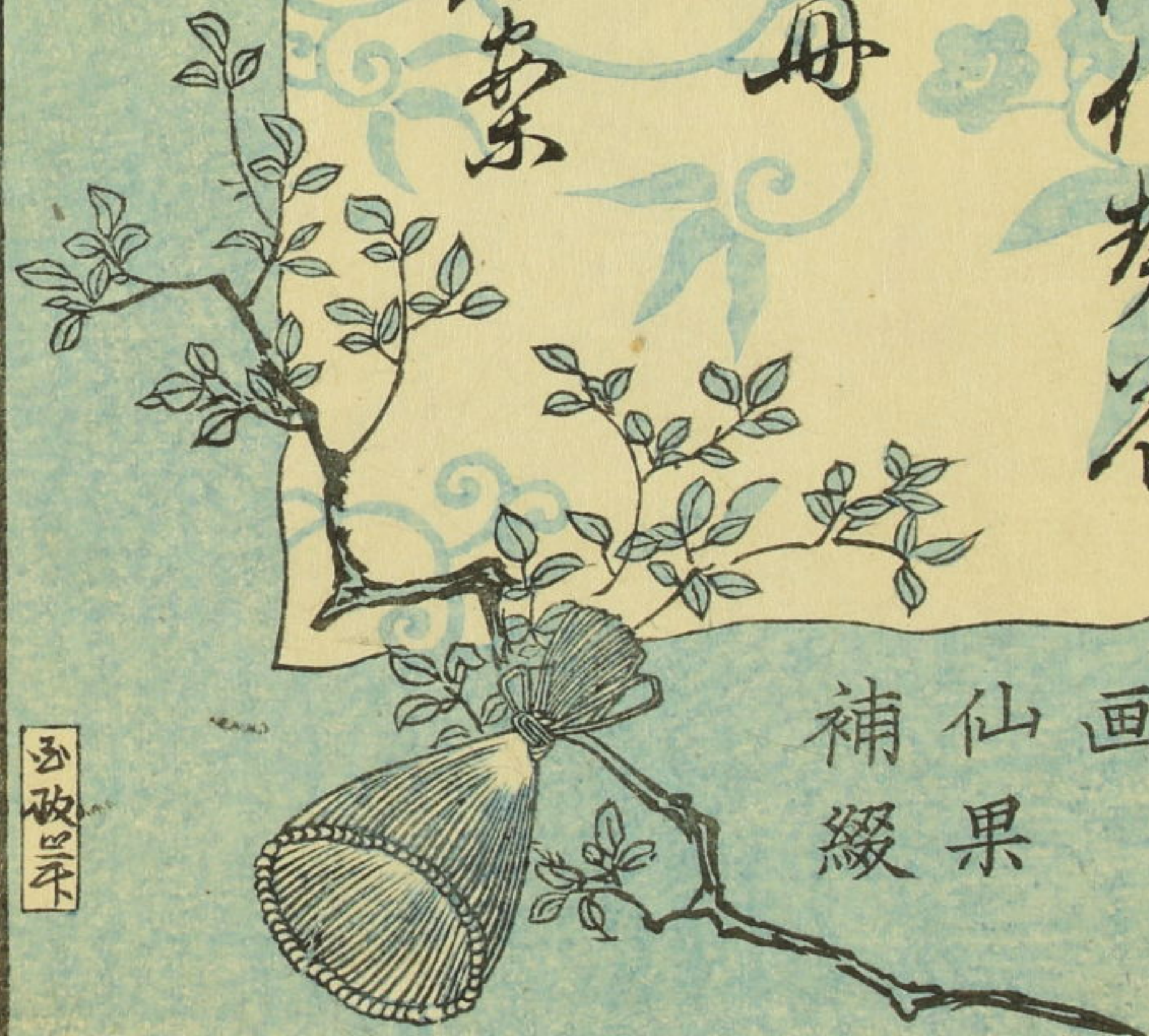
諸國物語伊勢巻

前編下冊

板柳字子守意案

弘化五年

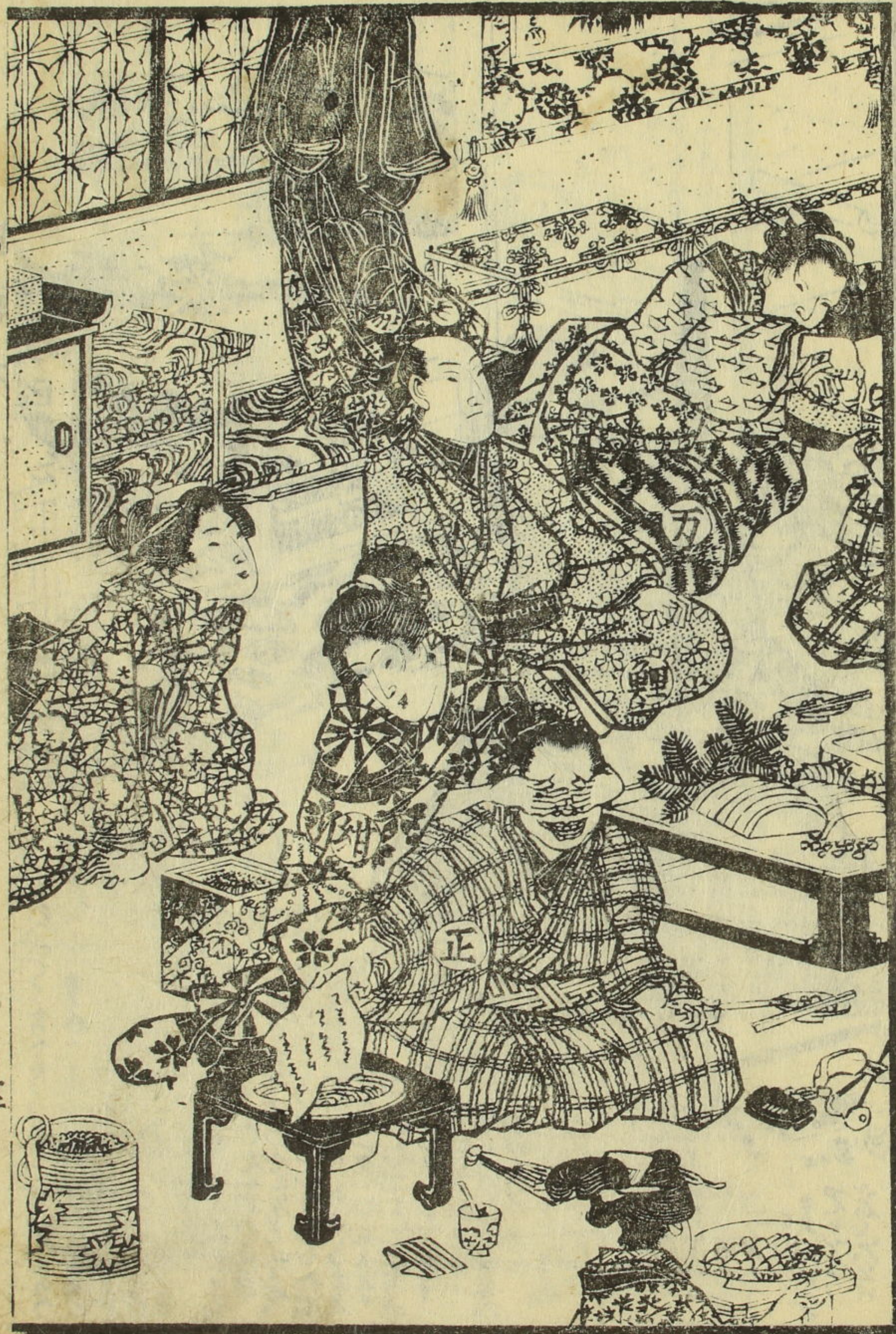
戊申春發兌



豊國 画仙果 補綴

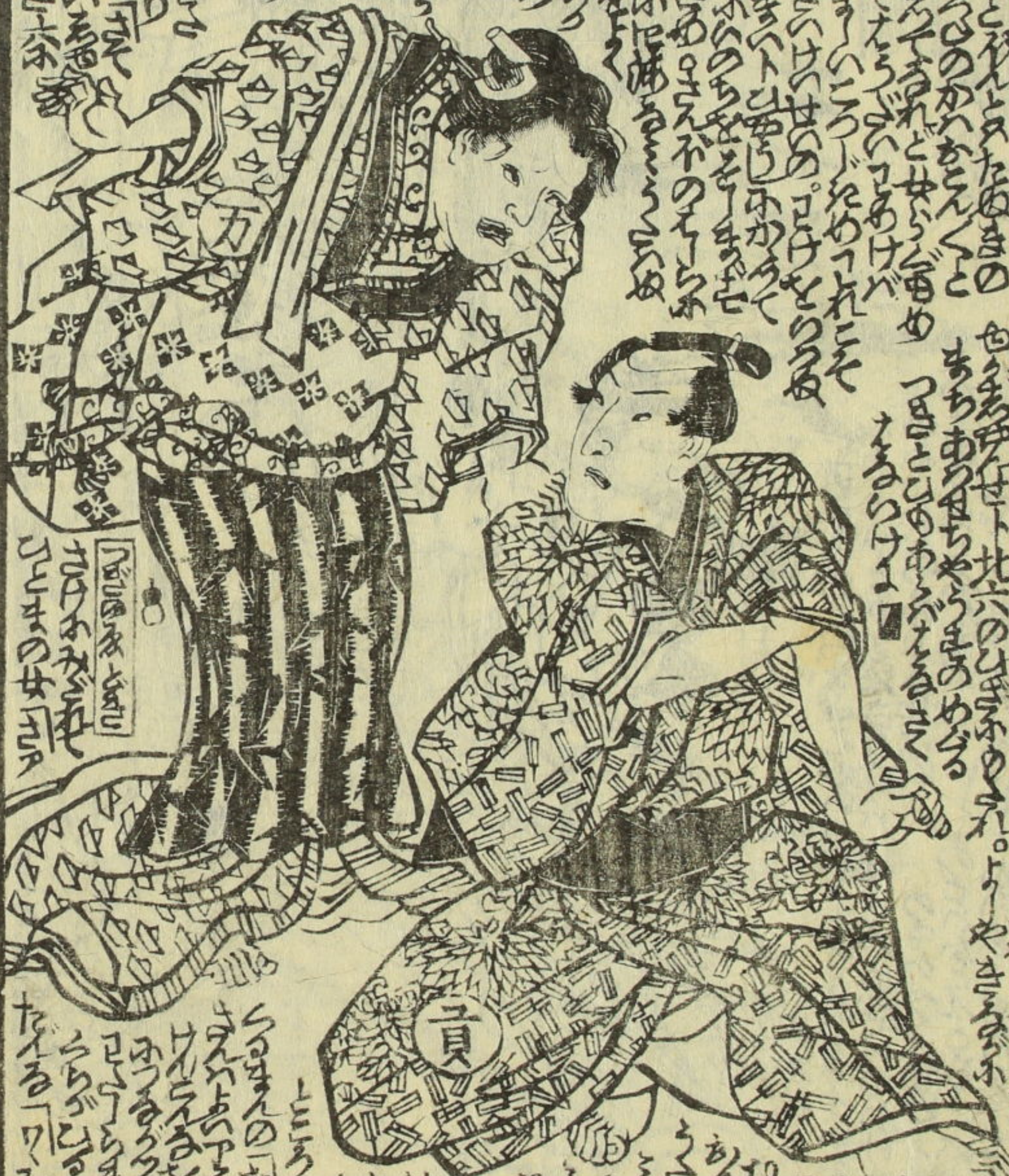
榮久堂版

玉政印



甘
草

Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the illustration on the right page.



Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the illustration on the left page.

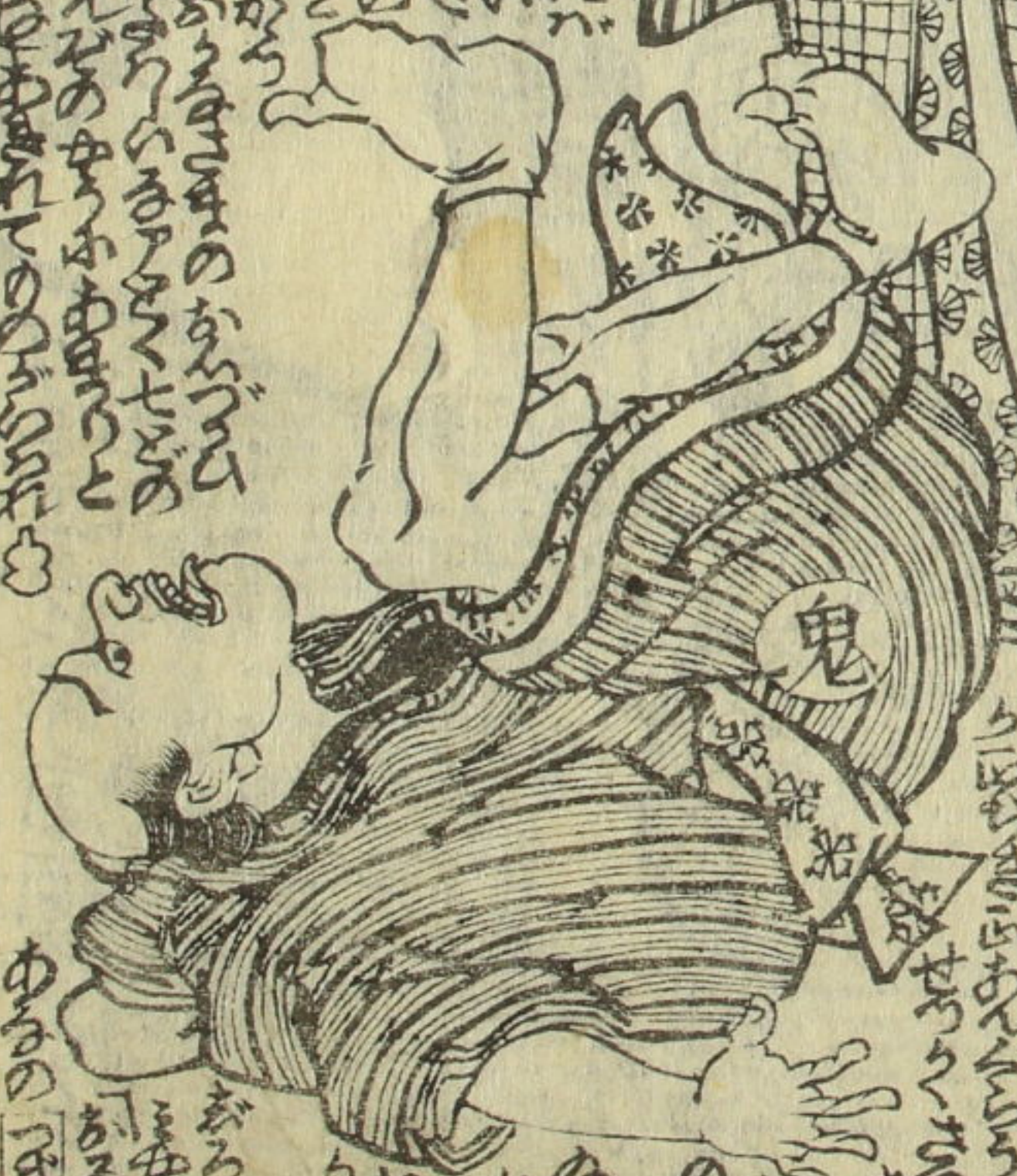


鬼の形に化してはなれど
 心は人の子の心なり
 鬼の形に化してはなれど
 心は人の子の心なり

鬼の形に化してはなれど
 心は人の子の心なり
 鬼の形に化してはなれど
 心は人の子の心なり

鬼の形に化してはなれど
 心は人の子の心なり
 鬼の形に化してはなれど
 心は人の子の心なり

鬼の形に化してはなれど
 心は人の子の心なり
 鬼の形に化してはなれど
 心は人の子の心なり



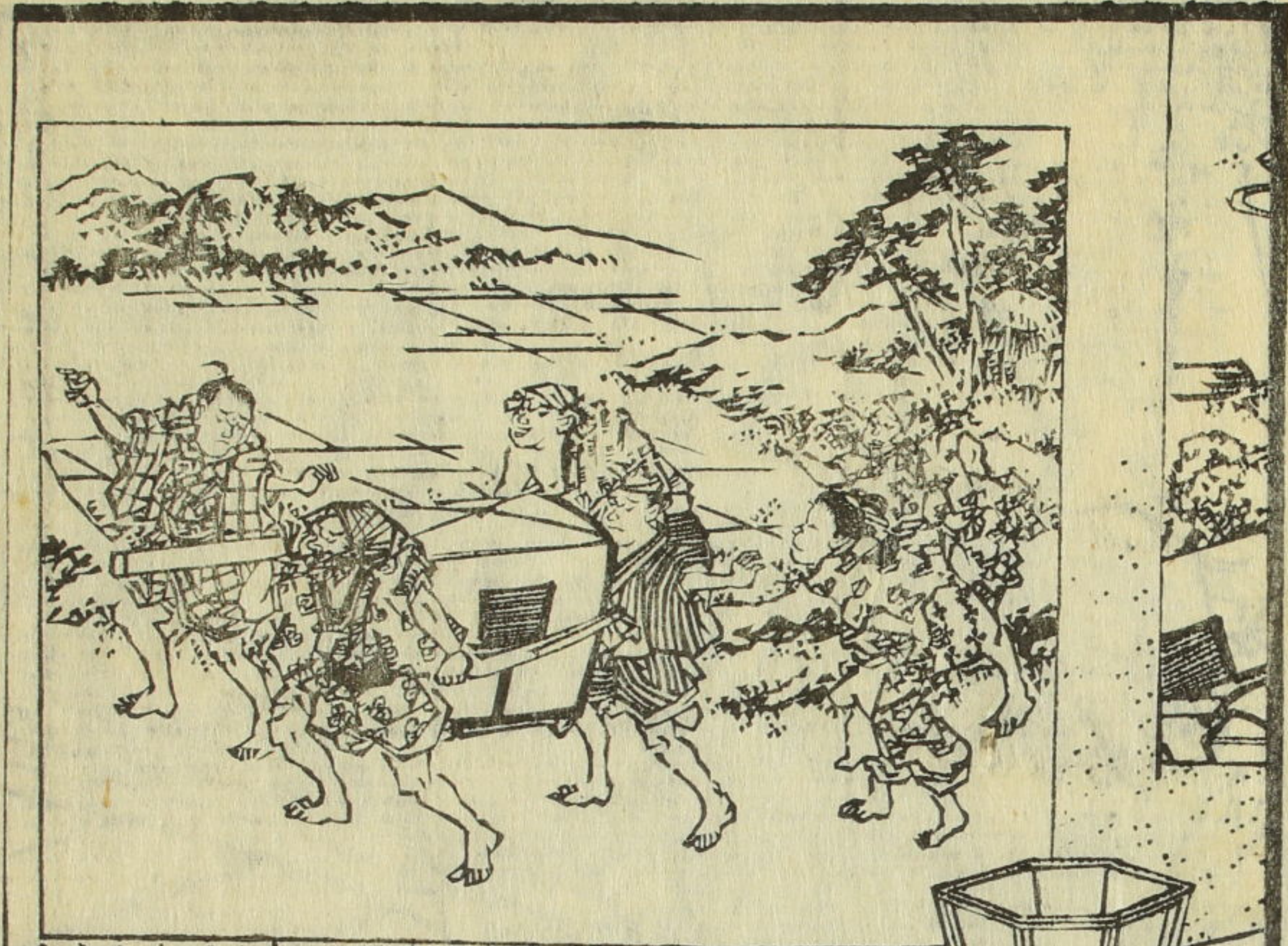
玉の心は人の心なり
 玉の心は人の心なり

玉の心は人の心なり
 玉の心は人の心なり

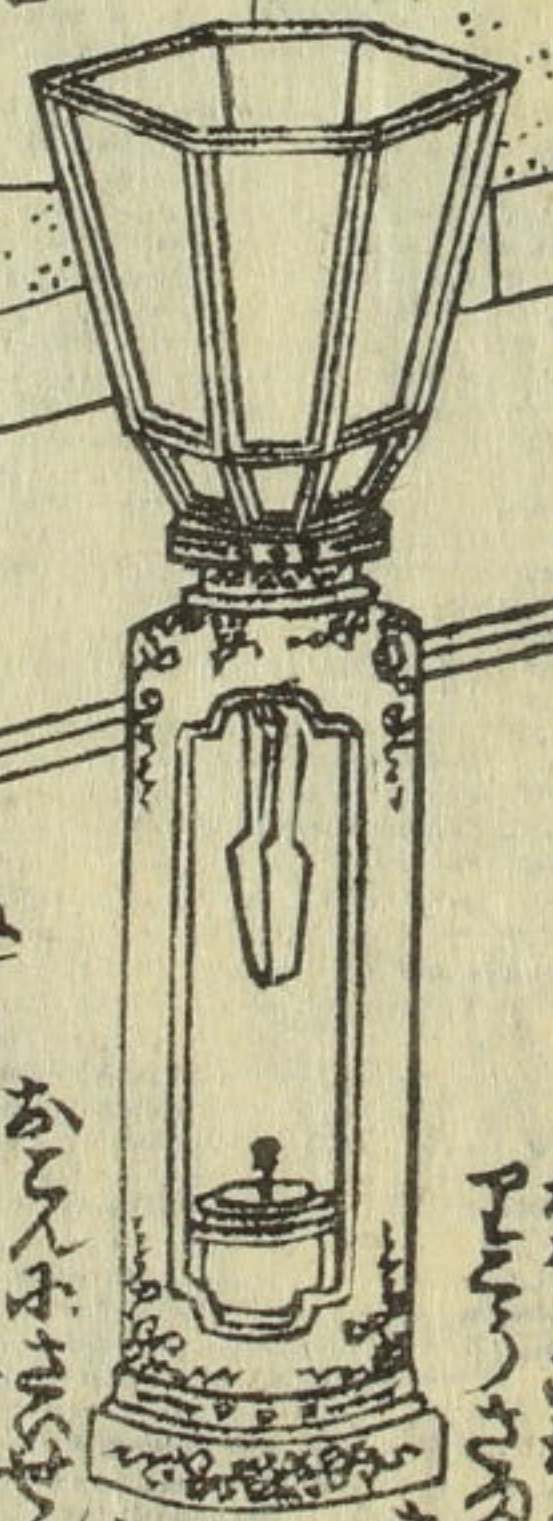
玉の心は人の心なり
 玉の心は人の心なり

玉の心は人の心なり
 玉の心は人の心なり

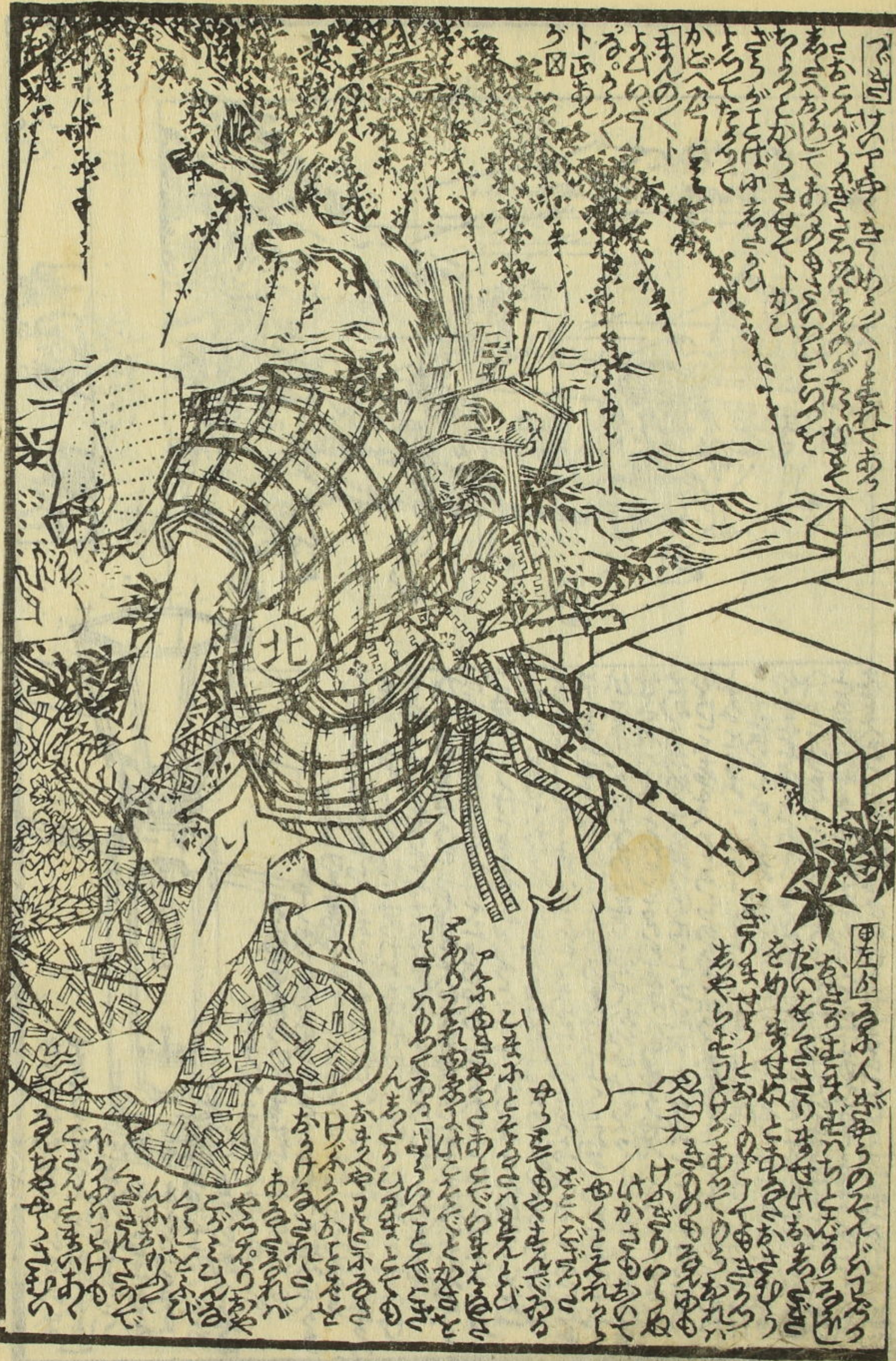




此の事は何れも... 徳と云ふ... 正と云ふ... 此の事は何れも... 徳と云ふ... 正と云ふ...



此丸の功効は、
 胃腸を消化し、
 痰涎を除去し、
 胸膈を舒暢し、
 飲食を進め、
 精神を爽快に
 するに功効あり。

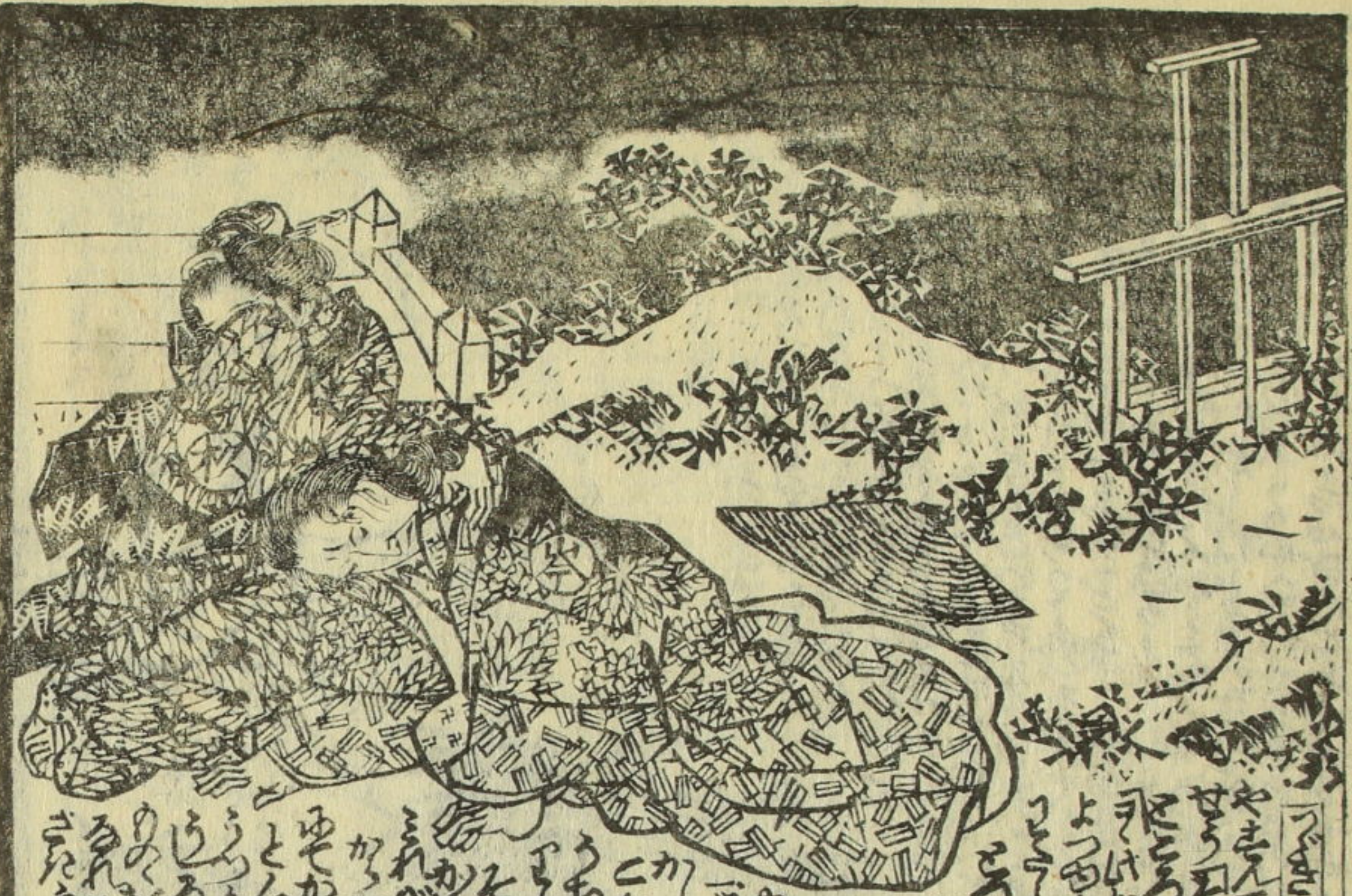


此丸の功効は、
 胃腸を消化し、
 痰涎を除去し、
 胸膈を舒暢し、
 飲食を進め、
 精神を爽快に
 するに功効あり。

此丸の功効は、
 胃腸を消化し、
 痰涎を除去し、
 胸膈を舒暢し、
 飲食を進め、
 精神を爽快に
 するに功効あり。



此丸の功効は、
 胃腸を消化し、
 痰涎を除去し、
 胸膈を舒暢し、
 飲食を進め、
 精神を爽快に
 するに功効あり。



Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese form of shorthand or a specific dialect, arranged in vertical columns around the illustration.



Handwritten text in a cursive script, similar to the text on the opposite page, arranged in vertical columns around the illustration.



邯鄲諸國物語

初編八編追加 柳亭種彦作
九編十編新刻 一陽齋豊國画

菊壽童霞の盃

山東庵京山作
一陽齋豊國画
十編新刻

仙女香七變化粧

十返舎後一九作
一陽齋豊國画
二編

朧月猫のこぼし

山東庵京山作
一陽齋豊國画
七編六編

竹女一代記

五蘭齋作
一陽齋豊國画
四編

妻のみとの紙

山東庵京山作
一陽齋豊國画
初編二編
新刻

隅田川月姿見

式亭小三馬作
一陽齋豊國画
三編

美艶仙女香 一包四十八釘
黒油美玄香 坂本氏製

榮久堂

江戸芳町親仁橋角
山本平吉版

故柳亭先生舊案

笠亭仙果補綴一陽齋豊國画



甘單九

